

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	新潟市立児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2025年12月8日		2025年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 42	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2025年12月16日		2025年12月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 29	(回答者数)	29
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援計画に基づき、個々の課題や特性に合わせた療育を実施しています。	・クラスや学年での話し合いながら、療育内容や支援方法を共通理解することで、チームで療育することを意識しています。 ・カンファレンスで日々の療育を振り返り、こどもの発達特性に応じてより適切な支援に繋がっています。 ・園内研修や外部研修を通して学びを深め、職員の資質向上を図っています。	・引きつづきチームで療育することを念頭に置き、PDCAサイクルを意識したカンファレンスを実施していきます。 ・職員のアセスメント力向上を図るために、園内研究を継続して行います。また各種研修に参加し、更なる知識、技術の向上に努めます。
2	・保護者、家族への支援が充実しています。	・家族支援の一環として、毎年当センターの職員を交えて座談会を行っています。今年度は初めて「家族みんなで育ちあう～こころに通うお子さんと家族と一緒に成長するために～」というテーマを設けて座談会を行いました。 ・保護者講座は様々な視点からテーマを設けて行っています。	・保護者のニーズをお聞きしながら講座のテーマの設定をします。 ・お子さんの保護者だけでなく、お子さんに関わる家族が参加できる、もしくは参加しやすい講座や座談会等を設けます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域に開かれた事業運営について、コロナ禍で夏祭りでのお神輿の練り歩きや夏祭りへの地域の方の招待を中止しており、その後再開していません。現在は広報紙の地域への配布と山湯保育園との交流保育のみとなっています。	・当センターでは医療的ケアが必要なお子さんも利用されていることから、感染症対策には特に留意しています。また、近年の猛暑の影響もあり、夏祭りのお神輿や地域の方の招待の再開については職員間でも様々な意見があります。	・地域に当センターのことを知っていただく目的やこどもの成長につながる経験であるかということを考え、検討していきます。
2	・個別支援計画等お子さん個人の療育や支援に関する計画はしっかり説明していますが、全体にかかわる支援プログラムや虐待防止マニュアル等の周知や説明が不足しています。	・4月の保護者講座で当センターの療育について説明していますが、内容が多いため、伝わりづらいことが要因だと考えます。	・4月は保護者講座やお知らせが多いため、落ち着いた時期に再度周知をします。あわせてICTサービス「コドモン」を活用し、いつでも見れるようにしておきます。
3			